

# 令和2年度病害虫発生予察情報 特殊報 第3号

令和3年2月8日  
岩手県病害虫防除所

## ネグリゾクトニア葉鞘腐敗病の発生について

### 1. 発生状況

- (1) 令和元年7月に、洋野町のねぎ栽培圃場において、外葉が退色・倒伏し、枯死する症状が確認され(図1)、翌年7月には北上市、8月には矢巾町、花巻市のねぎ栽培圃場で同様の症状が発生した。倒伏した外葉の基部には、菌糸がクモの巣状に充満していた(図2)。
- (2) 岩手県農業研究センターで分離菌の培養性状の調査および遺伝子診断(PCR法、ITS領域の遺伝子解析)を実施した結果、これまで本県では未確認であった*Rhizoctonia*属とその関連属菌によるネグリゾクトニア葉鞘腐敗病と確認された。今回確認された原因菌群は、本病病原菌として既知の*Rhizoctonia solani* Kühn 5菌群(AG-1 IB、AG-4 HG-I、AG-4 HG-II、AG-4 HG-I+II、AG-5)のほか、Binucleate *Rhizoctonia* AG-Aおよび*Waitea circinata* var. *zeae*であった(表1)。本病は平成17年に北海道で初めて発見され、これまでに北海道のほか、青森県での発生が報告されている。

表1 岩手県内で確認されたネグリゾクトニア葉鞘腐敗病の分離菌群

発生市町	確認日	分離菌群※
洋野町	令和元年7月17日	<i>R. solani</i> AG-4 HG-I + II
		<i>R. solani</i> AG-1 IB
北上市	令和2年7月3日	<i>R. solani</i> AG-5
		<i>R. solani</i> AG-1 IB
矢巾町	令和2年8月3日	<i>R. solani</i> AG-4 HG-I
		<i>R. solani</i> AG-4 HG-II
花巻市	令和2年8月3日	<i>R. solani</i> AG-4 HG-I + II
		<i>Rhizoctonia</i> sp. (binucleate)
		(Binucleate <i>Rhizoctonia</i> AG-A)
		<i>Waitea circinata</i> var. <i>zeae</i> ( <i>Rhizoctonia zeae</i> )

※分離菌群は遺伝子診断(PCR法、ITS領域の遺伝子解析)により同定

### 2. 病徴

- (1) 土寄せ等により土壌と接触した葉鞘および葉身基部のみが発病し、外葉が枯死するものの、株全体が枯死することはない(図1)。
- (2) 発病後の葉鞘は淡褐色となり、軟化・腐敗する。発病した葉鞘から伸びた葉身は枯死し、引っ張ると容易に離脱する。
- (3) 腐敗した葉鞘内や枯死した葉身基部、土壌表面には菌糸が充満する(図2)。
- (4) 畦単位で発生することが多い(図3)。



図1 枯死したねぎ外葉



図2 枯死した葉身基部に  
充満した菌糸



図3 畦単位での本病発生  
の差  
(左の畦で発生が多い)

※図1、3写真は久慈農業改良普及センター提供

### 3. 発生生態

- (1) *Rhizoctonia solani* による土壌伝染性病害で、連作圃場で発生が多い。
- (2) 罹病植物残渣上や土壌中で越冬した菌糸または菌核が一次伝染源となる。その後、土壌中に菌糸を伸ばさせ、土寄せにより土壌と接触した葉鞘または葉身基部に感染し、土寄せ後5～10日程で発病する。
- (3) 土寄せを深めにすると発生が助長される。
- (4) 外葉の枯死枚数が少ない場合は被害が少ないが、外葉の半数以上が枯死すると減収する。
- (5) 生育適温は19～23℃とされ、日平均気温が19℃以上で発生する。

### 4. 防除対策

- (1) 土寄せ時は、1回の培土量を少なめにし、培土の回数を増やす。
- (2) 発病しても株全体が枯死することはないが、多発する場合は薬剤防除を実施する。本病に対して適用のある薬剤は、下表のとおり。

表2 ネギリゾクトニア葉鞘腐敗病に適用のある薬剤

薬剤名	系統名	農薬分類 (FRACコード)	希釈倍数・ 使用量	使用時期	使用回数	使用方法
アミスター20フロアブル	QoI殺菌剤	11	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布
リゾレックス粉剤	AH殺菌剤	14	30kg/10a	土寄せ前 但し、 収穫14日前まで	3回以内	株元散布

### 5. 参考文献

- (1) 農業総覧病害虫診断防除編 第3-②巻 追録第48号 p105～108 (社団法人農山漁村文化協会発行)

#### 【利用上の注意】

- ・本資料は、令和3年1月27日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。
- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆病害虫防除に関する情報は、いわてアグリベンチャーネット

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html> からご覧いただけます。